

## 週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.03.19~03.30

記事の詳細は、情報検索サービス  
『キジサク』でご覧になれます。

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

3月19日(月)

中国の半導体、存在感じわり  
「世界の工場」着々と  
半導体産業で、中国がじわじわと存在感を高めている。大手半導体メーカーが相次いで進出するほか、地場の受託製造企業も台頭。家電などと同じく「世界の工場」を確立しつつある。(8面)

岐阜セラツク、江蘇省に工場  
コーティング材用添加剤 / 現地生産

岐阜セラツク製造所は、江蘇省南通市に各種コーティング材用添加剤の工場を12月に稼働する。同社初の海外工場で、6月着工。20億円投資。日本からの輸出を現地生産に切り替える。(11面)

3月20日(火)

中国から統合承認  
新日鉄・住金 / 全て取得

新日本製鉄と住友金属工業は、中国の独占禁止法当局から両社の経営統合を無条件で承認する審査決定通知を受け取った。事前審査が必要な日本と約10カ国・地域の当局の承認を全て得た。(3面)

テルモ、中国で腹膜透析事業  
最大手の山東威高と合弁

テルモは、中国で腹膜透析事業を開始する。中国医療機器最大手の山東威高集団医用高分子製品股分と今秋に折半出資の合弁会社。2021年にはシェア25%、売上高400億円を目指す。(9面)

3月22日(木)

北京で廃車リサイクル  
豊田通商 / 2020年4.5倍に

NEDOは、豊田通商と北京市で使用済み自動車をリサイクルする実証実験を始めた。2020年に中国のELVが4.5倍に増加すると予測。四川省では地元企業と合弁会社を設立する。(7面)



3月23日(金)

日立造船、大連に新会社  
水処理装置 / ナガオカと共同

日立造船は、提携しているナガオカと、大連市にプロセス機器や水処理装置などの製造会社を設立する。ナガオカの水処理装置、日立造船の石油精製・化学合成用プロセス機器を生産。(9面)

信越化学、レアアース合金生産  
年3000t / 福建省で来年

信越化学工業は、福建省で2013年1月からレアアース磁石用合金の生産を始める。磁石の中間原料のレアアース鉄ボロン合金の生産能力は年3000t。輸出規制対象外の合金で日本へ。(16面)

DIC、年1万2000t増強  
アクリル樹脂・ウレタン樹脂など

DICは、合成樹脂などを生産する江蘇省の子会社を増設する。アクリル樹脂とウレタン樹脂、金属せっけんの合計で年1万2000tの生産能力を増強。華東や華北での需要増加に迅速対応。(16面)

3月26日(月)

天津にAT新工場  
アイシンAW / 年産能力40万台  
アイシン・エイ・ダブリュは、2014年

韓国を訪問したオバマ米大統領は北朝鮮との軍事境界線のある板門店の非武装地帯(DMZ)を視察した(3月25日=ブルームバーグ)

末の稼働をめどに、天津市に自動変速機(AT)工場を新設する。前輪駆動(FWD)車用6速ATを生産し、年産能力は約40万台。中国3カ所目の工場。(8面)

広東省のモデル企業に認定  
三菱レイヨン / 中国グループ会社

三菱レイヨンは、中国グループ会社の惠州恵菱化成が、広東省人民政府から「労働関係和諧モデル企業」に認定された。従業員を尊重し、調和のとれた労使関係が評価された。(18面)

3月27日(火)

地域の名称、中国での保護検討  
農水省が研究会

農林水産省は、「地理的表示保護制度研究会」の初会合を開いた。中国で「瀟岐うどん」などの名称が勝手に使われるなど地域名保護が問題になり、日本の事情に合った保護制度を検討。(2面)

シャープ、複合機を増産  
江蘇省に新工場 / 年65万台

シャープは、中国工場の複写機や複合機の生産能力を約1.6倍の年65万台に増強する。約25億円を投じて江蘇省に新工場を建設、4月に稼働する。中国でのカラーモードの需要増加に対応。(13面)

3月29日(木)

上海に技術サービス拠点  
機械工具 / 京セラが開設

京セラは、上海市に機械工具の技術サービス拠点「上海テクニカルセンター」を新設した。国内では滋賀八日市工場から野洲工場に移転し「関西テクニカルセンター」として業務を始めた。(9面)

3月30日(金)

上海に技術サービス拠点  
機械工具 / 京セラが開設

京セラは、上海市に機械工具の技術サービス拠点「上海テクニカルセンター」を新設した。国内では滋賀八日市工場から野洲工場に移転し「関西テクニカルセンター」として業務を始めた。(9面)

3月29日(木)

佐川、ベトナム拠点網を拡充  
ハノイ近郊に新保税倉庫

佐川グローバルロジスティクスは、ベトナムで拠点網や提供サービスを拡充。

同国3カ所目の保税倉庫をハノイ市近郊に。保険会社の代理店業務も。ハノイなどで始めた宅配便の地域を拡大。(1面)

クボタとアクアの事業選定  
アジア水環境改善実証 / 環境省

環境省は、2012年度にアジアで実施する水環境改善の実証試験について、クボタとアクアが提案した2件の事業を選定した。アジアの水ビジネス市場への進出を後押しする。(17面)

3月30日(金)

横浜ゴム、デリーに新工場  
乗用車用タイヤ年70万本

横浜ゴムは、インドのデリー近郊に乗用車用タイヤ工場を建設する。2014年7月稼働。年産能力は70万本。投資額は約44億円。需要を見極めながら段階的に生産量を増やす。(8面)

3月29日(木)

FCA事業、中国・東南ア增强  
パナソニック / 売上高2000億円

パナソニックは、FCA事業の売上高を2000億円以上に2015年度までに拡大する。中国や東南アジアなどで生産、販売体制を強化、アフリカや中央アジアなどの新興市場を開拓する。(3面)

3月30日(金)

ミャンマーの金融システム調査  
大和総研

大和総研とNTTデータ・富士通との共同事業として、国際協力機構との間で「ミャンマー金融システム近代化に関する情報収集・確認調査」に関する業務実施契約を結んだ。(15面)

3月29日(木)

三菱ガス化、韓国でPOM増産  
年产能33%増、14万t

三菱ガス化学は、40%を出資する韓国エンジニアリングプラスチックスで、ポリアセタール(POM)の年产能を33%増の14万tに増強する。蔚山工場に年产能3万5000tの設備を稼働。(17面)

3月30日(金)

マレーシアに基本計画を提出  
スマートグリッド官民ミッション

スマートグリッド分野の有力企業連合・スマートコミュニティ・アライアンスの海外ミッション実績が蓄積されてきた。マレーシアには東芝や清水建設などによる基本計画を年内に提出。(2面)

3月29日(木)

シャープ、鴻海と提携  
大型液晶の供給先確保 / 筆頭株主に

シャープは、電子機器製造受託サービス(EMS)最大手の台湾・鴻海精密工業と資本・業務提携する。大型液晶事業の安定化につなげる。出資比率が議決権ベースで約10%で筆頭株主。(1面)

3月30日(金)

JFE、ベトナムに製鉄所  
高炉一貫、年350万t / 事業化調査

JFEスチールは、台湾大手鉄鋼メーカーの義聯集團がベトナムで計画中の高炉一貫製鉄所プロジェクトに主導権を取り回る前提で事業化調査に入る。第1期は粗鋼能力が年350万t。(2面)

3月29日(木)

三菱重工、韓国で10基連続受注  
新型ガスタービン / 合計477万kW

三菱重工業は、韓国の四つの発電所から新型のガスタービン「M501J形」計10基を連続受注した。GTC発電所で、合計出力477万kWに達する。J形

3月30日(金)

日興AM、M&A戦略を加速  
韓国・台湾・インドネシアに照準

日興アセットマネジメントは、アジアでの営業地域拡大でM&A戦略を加速。

3月30日(金)

日興AM、M&A戦略を加速  
韓国・台湾・インドネシアに照準